

しりべしツーリズムサポートニュース



Vol.138

令和元年 10 月

真狩高校、大賞受賞！「わが村は美しくー北海道」第9回コンクール



2月、小樽ブロック優秀賞に輝き全道大会へ進んでおりましたが、昨年は幌加内高校が大賞受賞されていたので2年連続の高校は厳しいかな・・・と思っていただけに快挙！です。

村の農業課題と特性を生かした取り組み「有機農業研究」「野菜製菓研究」と共に「大豆100

粒運動」による次世代伝承など、課題ごとに取り組んでおり、各ファイリングの厚さにビックリしたのがブロック調査の懐かしい思い出です。大賞受賞が学校

運営の光となり、様々な農業課題への提言、村でスイーツ店開店！と村民の期待、喜びとなることを願います。

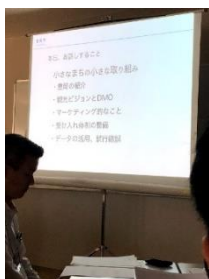
「La Fête des Vignerons à YOICHI (農園開放祭)」

ラフェット余市はイベント取りまとめサイト、アプリ？というのか「Peatix」を見て、使って開催を知ったり、チケットを購入したりする次世代型イベント。参加者数は680名ほどになっていたと思います。



各自歩く巡るルートは様々ですが町内の方とほとんど会わない。アナログ情報（新聞や広報）でしかイベント情報を摂取出来ない方々には「情報がない！」と恨み節が聞こえてくるイベントですが（電子マネー、ポイント還元などデジタル化の波は時代の流れでもあるのだが・・・）内容、特異性、ここならではの感では断トツなイベントです。住民には見慣れた景色が参加者にはヨーロッパの景色のようだと好評であったし、最良ワインの生まれた地、生産者、醸造者と触れ合えるのは格別、特別な事のように感じました。注目度の現れに道新のテレビ取材クルーも入っていました。

北海道観光振興機構「地域DMO形成ネットワーク会議」から～豊岡市の考え方～



一昨年の研修会で講師快諾頂いたJTB北海道、中川氏から開催案内を頂き、日本版DMO推進の情報交換会へ。DMOは“稼ぐ”が根底テーマなので官民協働でも上手くいっている地域は少ないのではないだろうか・・・と思ってもいましたが、兵庫県豊岡市環境経済部大交流課、課長、谷口氏の豊岡市の考え方、取組みの講演は最高でした！「大交流課」を作ってしまうほどですから発想原点がちょっと違う。今のまま、このままの豊岡市を戦略的になのである。京都から2時間半かけても訪れる

価値がある所づくり。「誰に×何を×どのように」に一連のプロセスを徹底的にマーケティングし、差別化や独自資源に仮説を立てて整理、妄想し「大交流課」設置から躍進的な伸びを見せている。千年を

超える歴史ある内地ならではの“まち”の文化や景観、古さが有るのであろうけど、合併6町のそれぞれの資源を上手く繋げて豊岡の日本的な魅力を実装しているからこそ、ヨーロッパの方々に奥京的にファンが多いのだと思う。「大交流」の意味は内と外の交流を指すのではなく、6つの町の交流があり、一丸となった内で堂々と世界に魅力発信をするべ！ということなのかもしれない。絶対気に入る、混ざりたいか？的な底に流れる心意気を小気味よく感じたのは私だけかな・・・

1時間10分ほどの講演時間ながらもっと話したい、聞きたいと思う先進地施策の達人である。あ～後志のまちづくりに関わっている若き人達に是非、聞かせたい！と思う人である。どこかで招聘して欲しくないかな～。

しりべしに行こう！！G20 観光大臣会合開催記念「しりべしキャラカード」配布スタート



昨年の大好評ぶりにも驚きましたが、今年は後観連主催、G20とコラボで限定感さらに高く、再び大人気なようです。イベントでカードGETだとスペシャルカードが貰えるそうなので、イベント活性にも一役かっている。裏面に偶然にも後志20市町村とG20と共通点があり、裏面に参加国の情報が入っているのが「お～！」と感動です。前回に続きカード、チラシのデザインは小樽商科大学キャラクターでつなげる地域の輪プロジェクトさん。毎回、スタッフのデザイン力、技術力の高さが凄いな～と驚くばかりです（自分が無芸、才能無しの極みなのでホント、羨ましい）

（自分が無芸、才能無しの極みなのでホント、羨ましい）

BYWAY 後志（通巻22号）発行されました！



日本タウン誌フリーペーパー大賞2018を受賞から注目度もアップしとても喜ばしいことです。後志の小さな話題をコツコツと積み上げ、人、もの、ことの膨大な歴史書でもあると思います。巻頭「多国籍化するニセコと子供たち～新しい日本のカタチ」ではインターナショナル・ニセコ校があるだけでは解決しない深刻な問題があるらしい。P36、松田編集長「生涯、最後のワンコを飼

う！」には同じく犬好きとしてエールを送りたい気持ちで読む。ペットは動物好き女には永遠の子供で有り、呼吸するぬいぐるみでもあるのだ（私だけかもしれないが・・・）秋田犬「ハーディ」は今やニセコ駅のアイドル、心寂しい人のセラピーまでこなしているらしい。秋田犬といえ青森のぶさかわの「わさお」を思い浮かべるけれど、「ハーディ」のおメメはつぶらな瞳～足の短さもなんか可愛い～とブチすぎる容姿には目をつぶり、えこひいき丸出しで、会いたい～！！とスーパー後志えこひいきなのである（笑）

令和元年度「しりべしiシステム事業スタッフ研修会」11/12（火）開催決定！

まちを遊ぶデザイナー

江別市でのまちづくり事後と
モテる広報デザイン講座



ヤマザキクリエイティブ
後志市「しりべしiシステム」の2020年10月27日開催の「しりべしiシステム」の事後と「モテる広報デザイン講座」を開催いたします。この講座は、しりべしiシステムの活用や、まちづくりのデザインについて、山崎氏から学びたいという方に向けて開催いたします。お申し込みは、しりべしiシステム事務局までお願いいたします。



江原別町

11月12日（火）13:00～15:00

12月12日（火）13:00～15:00

12月12日（火）13:00～15:00

12月12日（火）13:00～15:00

12月12日（火）13:00～15:00

12月12日（火）13:00～15:00

合宿形式で開催していた後観連セミナーとSTS研修会。泊りは体力的にもきつい～もあって1日開催です。今年のメニュー検討時、iネットシステム管理技術者でもある山崎さんから江別市での楽しみながらまちづくり～の活動話を聞き「江別でのまちづくり事例」と活動、周知には目を引く、興味のソル広報が重要でもあるらしく、デザイナーの視点、才能はどう表現するのか？を学ぶメニュー「モテる広報デザイン講座」としました。山崎氏は日本タウン誌フリーペーパー大賞優秀賞受賞もされ、北海道道の駅スタンプラリー2019の表紙デザインも担当されている。

